札幌市立栄町中学校 学校通信

若い芽

令和８年合唱コン特集号

2026年(令和8年)11月 6 日発行

合唱コンクールを振り返って

＜３年１組＞

合唱コンを通して、合唱は一人一人の歌声だけでなく、やる気が合わさる事で完成するものだと改めて感じました。練習を始めた頃は音程やリズムを合わせる事に精一杯で、クラス全体で同じ目標に向かう難しさを感じる事もありました。最初はパートリーダーが軸となって引っ張っていくものだと思っていましたが、練習を重ねていくと一人一人が自分の課題を意識し、互いに声を掛け合う姿が増え、少しずつ合唱がまとまっていくのを感じました。私はパートリーダーと今年初めてPJ 長をやりましたが、全体をまとめる難しさと、周囲の協力があってこそ、一つの合唱つくられるのだと学びました。また、技術面だけでなく、全員が同じ方向を向いて取り組む姿勢も合唱の完成度に大きく関わるのだと感じました。本番では練習とはまた違った歌になりましたが、積み重ねてきた練習の成果を出し切り、交流会の時よりも成長した歌を届けられ、達成感がありました。今回の経験を通して、仲間と一つの目標に向かって努力する楽しさや大切さを改めて学べて楽しかったです。また、私は最後の合唱コンで初めて金賞を取る事ができました。クラスのみんなで思い切り喜び、とても思い出に残る忘れられない一日になりました。

＜３年２組＞

今回の合唱コンを通して学んだ事は3つあります。1つ目はよりよいものにするために意見を出し合う事です。パート内で「ここをこうしたほうがいいと思う」と言い合ったり、違うパートの人から改善点や意識したほうがいい点を言ってもらったりなど、良い合唱になるように、みんなで高め合っていきました。2つ目はみんなで歌う事の楽しさです。全パート合わせて歌った時、上手にハモれたり声量のバランスがちょうど良く上手に歌えた時には、楽しいと思うようになりました。3つ目はできる限りの努力をすると後悔をしなくなるという事です。金賞を取るために、全力で頑張ってきた結果、惜しくも銀賞だったけれど、みんなで合唱できたので後悔はないです。また、自分たちの合唱で、沙羅先生を泣かせることができてうれしかったです。今回の経験を忘れないで、これからの生活に生かしていきたいです。

＜３年３組＞

中学校生活最後の合唱コンを３組のみんなでできて、本当によかったです。最初はみんな「聞こえる」をやろうとしなくて、曲が決まった時は正直渋っていた人もいたし、何より難しそうな曲でした。学校祭が終わって本格的に練習が始まった時は、音取りも難しかったし、女子の人数でたくさん悩んだりもしました。でも、だんだん上手になってきていると毎回感じていて、それがすごくうれしかったです。ですが、全体で合わせた時はやっぱり女子の声が聞こえないし、ズレも大きかったです。10 月になって放課後練習もできるようになってからは、毎日のように残ってパート練習をしたり、みんなでプランクをしたり、時には合わせて、和奏にアドバイスをしてもらって、たくさん練習しました。当日はとにかく緊張して、1･2 年生の発表の時は手が震えていました。自分たちの発表は、精一杯頑張りましたが、金賞には届きませんでした。教室に戻ってから食べた給食は、ほとんど味がしませんでしたし、先生も顔が死んでいました。ですが、本当に3組で合唱コンができてよかったです。3組で練習した時間がこんなにも楽しかったのはみんなのおかげで、そんなみんなと過ごした時間は私たちにとって一生の宝物です。みんな大好き。

＜３年４組＞
　今回は3年間の中学校生活の最後の合唱コンでした。私は2年生と3年生でパートリーダーに挑戦してみました。1年生の時は合唱コンのねらいや何を目標として取り組む行事なのか、全く理解していなく、合唱コン当日は自分の思うままに、周りを気にせず、思い切り歌ってしまい、銀賞でした。とくに本気で練習をしていなかったので悔しくなかったです。でも、2年生からは合唱の意味を自分なりに理解し、パートリーダーとして、みんなに合唱とはどんなことで、何がすばらしいのかを伝えたいと思ったから、本気でやりました。その結果が金賞でした。とてもうれしかったです。3年生の合唱では、あまり自分の声を出しすぎず、みんなに上手くなってもらいたいと思い、今まで以上にないくらいに本気で、少し厳しくみんなと取り組みました。その結果が金賞でした。頑張ると結果がついてくると教えてくれたのは合唱です。みんな一人一人個性があって、一人一人違う考えをしている人が集まって、同じ目標に向かって取り組み、つくりあげる事を学べるのが合唱で、そんな合唱が僕は大好きです。

＜　７　組　＞
『３年間ありがとう！』
　今年の合唱コンクールは、「BELIEVE」を歌いました。僕は、最初の練習は自信がなく、歌いたくなくて口パクでした。しかし、阿部先生に「小さくてもいいから歌ってね。」と言われ、途中から小さな声で歌ってみました。そこから、少しずつ自信がつき、練習で歌い始めました。本番はそれよりも大きな声で歌うことができました。
　僕が3年間の合唱コンクールで学んだことは、はっきりと歌うことです。1・2年生の時、はっきりと歌詞が伝わっていないことがあったからです。今回の合唱コンクールでは、言葉をはっきりと伝えることを意識して歌いました。伝わっていたら嬉しいです。今年の合唱コンクールは銀賞でした。1・2年生には、来年金賞をとってほしいです。





＜３年１組＞



＜３年２組＞



＜３年３組＞



＜３年４組＞



＜　７　組＞

＜２年１組＞
　自分は体調不良などで欠席も多く、合唱練習の時とかに、同じパートのみんなに迷惑をたくさんかけたけれど、分からないところを教えてくれたり、私が「ここ確認したい」って言った時に「いいよ」って、みんなが言ってくれたりして、とても助かったし、うれしかったです。私の歌を「上手！」ってほめてくれたり、「いい感じ！」って言ってもらえたおかげで、自信を持って本番で歌うことができまし

た。本番で歌って結果を発表された時、みんなに支えて助けてもらって、ここまでこれたから余計にうれしかったです。自分とみんなの努力が報われることって、こんなにもうれしい事なんだと思いました。それで改めてこのクラスは優しいクラスなんだなと思う事ができました。合唱コンが終わった後みんなに「アルトの声聞こえてきたよ」とか「上手でした」とか言ってほめてもらえて、めっちゃうれしかったです。私は学校祭の時も今回の合唱コンも合唱練習の時にも毎回毎回いろんな人に助けてもらってばかりで、何もできていないので、次からは私が助ける側になりたいなと思いました。1組は金賞の予感というスローガンで本当に金賞を取ることができるとは!!って感じでした。

＜2年2組＞

私は今回初めてプロジェクトメンバーでサブリーダーを経験しました。初めての事ばかりで、分からない事だらけだったけど、リーダーと支え合いながら、最後までやり遂げる事ができました。最初全員で合わせて歌ってみた時、ハモリや声量がなかなか上手にいかなくて、正直、不安な未来しか見えませんでした。でも、練習を重ねていくうちに、少しずつ上手になっていき、本番前の最後の練習では比べ物にならないくらい上手になったと思いました。中々アルトパートが聞こえづらく、ソプラノやテノールに消されてしまいました。それでも努力し続けて、本番では全パート聞こえるようになりました。金賞は惜しくも取れず、銀賞で終わってしまいましたが、練習では金賞取れるくらいたくさん努力してきたと思います。来年は3年生で最高学年になり、1・2年生を引っ張っていく存在になります。最後の合唱コンは金賞取って終われるように頑張りたいです。

＜2年3組＞

最初の頃は、あまり上手に歌えなかったり、各パートの声がそろっていなくて、不安な気持ちでした。藤岡先生やPJ長がたくさんアドバイスをしてくれたり、パートごとに反省会をして課題を見つけ、みんなでがんばりました。体育館で練習すると全然声が小さくなっていて聞こえませんでした。特にソプラノはテノールの声に負けてしまっていたので、一人一人がもっと声を出すという意識を持ったほうがいい、ここが弱いなというところに印をつけ、何回もパートで確認し合いました。前日になるとみんな急に良くなっていて、びっくりした事を覚えています。そして本番の日の最後の練習、みんなで勝ちたいという思いが強くなっていて、一番いい合唱ができました。そこでみんなの気持ちが一つになったと思い、感動しました。本番はとても緊張しました。少し失敗もあったけど、練習してきた事を出し切る事ができました。そして、結果発表「3組金賞」と言われた時、みんな喜んで叫びました。とってもうれしかったです。本気で練習してきて良かったと心の底から思いました。教室で最後に歌った時、感動で涙が出てきそうになりました。みんなを信じて良かったと思いました。たくさん書き込んだ楽譜も悩んだ事も、みんなで改善点を言い合った事も、楽しかった練習も喜んだ事も大切な思い出です。

＜2年4組＞

私は去年の合唱コンでソプラノのパートリーダーをやり、色々とうまくいかない事が多くて、もうソプラノのパートリーダーやりたくないなと思いました。だから、今年はPJメンバーにこんな思いをしてもらいたくないと思い、できるだけ出しゃばり過ぎず、吉田さんを困らせないようにサポートすることを意識しました。今まで、周りをまとめるようなリーダー的立場ばかりやっていたので、リーダーをサポートする難しさやありがたみをとても実感しました。閉会式の時、銀賞と言われ、学校祭は装飾で、スポレクもほとんど最下位で、合唱コンも銀賞。いつも教室きれいにしてるし、あいさつもどのクラスよりもがんばってるのになと思っていたら、涙があふれてきました。去年も銀賞で、その時は欠片も涙が出なかったし、「まあそうだよねー」くらいで終わっていたから、この差ができるくらい本気でやってたんだなと思いました。悔しいし、悲しいし、辛いけど、このままへこたれてるわけにはいかないから、しっかり切り替えて雪中レクくらいは1位取りたいし、来年は絶対に金賞を取りたいです。

＜1年1組＞
初めての合唱コンクールで緊張したけど、みんなで全力の歌を歌えてよかったです。あと、結果発表ドキドキしたけど、金賞を無事に取れて、すごくうれしかったです。ちゃんと面倒くさがらずに、一生けん命練習して良かったなと思いました。リーダーのみなさんがいろいろ教えてくれたり、みんなをまとめてくれたのも良かったと思いました。さらに、自分たちの合唱だけでなく、他の学級の合唱も、しっかり聞けたのが良かったと思います。どのクラスも上手でしたが、特に3年生は全てのクラスに金賞でもおかしくないくらい上手でした。自分が2・3年生になった時に、今の3年生を超えられるような合唱をしたいです。

＜1年2組＞
全体を通して、最初はじめてみんなで歌った時は、リズムも音程も安定していなくて「ほんとに金賞とれるのかな？」って思った事もあったけど、色々な練習をして、それを結果に出せてよかったです。金賞を取る事ができたのは、クラスを引っ張ってくれたプロジェクトメンバーと、一緒に歌ってくれたクラスのみんなと、優しく指導してくれた藤岡先生や先輩たち、そして怒ってほめて怒って怒ってくれたまさよさまのおかげだから感謝してるし、それを金賞という結果で返せてよかった！来年、再来年になったら、先輩たちみたいに迫力があって、人の心を動かせるような歌を歌えるようにしたいです。

＜1年3組＞
初めての合唱コンクールで、練習の進め方も本番の雰囲気も分からない事だらけだったけれど、リーダーの指導のもと毎日練習に全力で取り組む事ができました。中々思うように音程をつかめなかったり、真面目に練習をしない人がいたり、たくさん大変な事もあったけれど、最終的には全員が本気で本番にのぞめて、学校祭に続いていい思い出になったし、さらにクラスの「絆」を深めることができて、本当に良かったと思います。しかし、期間が短い中で、全員が真剣に練習を始めるのが少し遅かったため、私たちの限界を超える事はできていないと感じました。最初は、ふざけている人を見て見ぬふりをしてしまっていたので、もっと早くから注意をすればよかったという反省点もあります。でも本番の合唱は今まで1番最高だったし、普段から賑やかな私たち1－3らしい、唯一無二で素晴らしいものを作り上げる事ができたと思います。中学校生活の中で、とても濃い思い出を、このクラスで作れて良かったし、感謝でいっぱいです。

＜1年4組＞
最初はみんなバラバラで声もそんな出てなくて、アルトとかテノールとか自分のパートの音とか、あまりわかんなかったり、合ってなかったけど、みんなで練習していくうちに、声とか音程とか合うようになってきました。でも途中でトラブルとかもあったけど、それでより仲が深まったかもしれません。ちゃんと声が出る日とか出ない日もたくさんあったし、前々日にまだちょっと歌詞を覚えれない人たちもいたけど、次の日にはだいたいみんな覚えてて、すごいなと思いました。パートリーダーの人たちも優しくみんなに教えてくれたり、リーダーじゃない人もお互いに高め合っていていいと思います。前日は先生がいなくても自分たちで進めてて本当すごいと思ったし、人のアドバイスをちゃんと聞いてて良かったです。本番は金賞ではなかったけど、みんなで協力して歌えたと思うし、このメンバーで、この歌を歌えてすごく良かったと思います。

＜1年5組＞
結果は銀賞だったけど、今までで一番いい合唱だと思いました。本番前の動きや事前の放課後練習など、みんな真剣に取り組んでいて良かったです。パートごとの練習や本番前の声がけなど、学校祭の時よりさらに1年5組が「学級」になれた気がしました。パートリーダーや指揮者、伴奏者や先生のアドバイスをしっかり聞き、取り組めていて良かったです。また、先輩たちの歌を聞いて、勢いが違うなと思いました。自分たちも来年、再来年にはこうならなければと思うとやる気が増して自分たちの改善点や先輩たちのまねできるところを考える事ができました。結果は金賞ではなかったけれど、みんなを信じる事で今までで一番良い合唱だと思いました。来年は今年足りなかった部分を見つめ直し、今よりも迫力のある、人を感動させられるような合唱にしたいです。

日本スポーツ振興センター災害給付の請求についてのお願い

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申しあげます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、学校(園)管理下において負傷や疾病等の災害が発生した場合、独立行政法人日本スポーツ振興センター(以下センターという)災害共済給付金が支給されます。
この度、センターのシステム更新に伴い、令和８年 11 月下旬～令和９年１月中旬の期間中、給付金の請求を行うことができません。

提出予定の書類がお手元にある場合は、学校でシステム登録を行う必要がありますので**「11 月 18 日まで」**に学校に御提出ください。

なお令和９年１月以降は保護者の皆様がお持ちのスマートフォンなどから、オンラインにて申請できるようになります。詳しくは 12 月以降に改めてお知らせ致します。